

# 北栄町マイクログリッドを活用した 災害に強いまちづくり

水 上 啓 吾

## 1. 事業実施の背景・目的

1

図1 北栄町マイクログリッド・スマートグリッド将来イメージ図

## 2. 事業内容

1

表1 北栄町内の賦存量・利用可能量の集計結果

		存量 (TJ)	利 可能量 (TJ)
		267,339	40.1
熱 利		(267,339)	4.6
バ オ ス	木 質	27	0.3
	農 業	50	3.5
	畜 産	38	0.4
	廃棄物	35	6.5
合		267,489	32.0

### 3. 実 績

#### ① 北栄町役場内の勉強会

昨年度取り組んだ「北栄町クリーンエネルギーネットワーク推進可能性調査事業」の報告を兼ねて、職員及び関係団体への当該連携事業の周知をはかった。

#### ② 環境講演会を通じた住民への説明

当該事業は防災においても有効な手段となりうるが、住民の生活が大きく変化する可能性もあるため、住民への周知を欠かすことができない。そこで、住民への説明を兼ねて、2011年10月「第8回地球環境を考える自治体サミット」において、加藤嘉英氏（岡山大学大学院環境学研）に講演を依頼した。講演では「クリーンエネルギーネットワークの活用と可能性」として、自家エネルギーの活用を説明するとともに、地域での活用を促した。

#### クリーンエネルギーネットワーク活用研究会

、事業の推進のために北栄町役場内の研究会を設けた。2011年9月に開催した第1回研究会では地域におけるエネルギーへの取り組みについてとっとり研に報告を求めた。「地域におけるエネルギーへの取り組み」として、地域自治体におけるエネルギー取り組みの現状について、北栄町が有する強みとびばら性を明らかにしていくことを求めた。

いて2011年11月に開催した第2回研究会では、地域におけるエネルギーの活用可能性をかんがえるため、地域の事業を推進するにあたり、関係団体には、関係団体のメンバーの組手町の関係において北栄町への連携を促進することを求めた。このように、事業をすすめる中で、関係団体の職員との連携を通じて、事業の推進に役立てることを目指してきている。

### 4. 今後の取り組み

は住民及び関係団体の関係に地域研究会を設け、事業の推進に役立てることを目指している。地域研究会では、クリーンエネルギーネットワークの活用について調査研究を行い、関係団体の関係に、クリーンエネルギーを活用した防災に強い地域づくり事業及び関係団体の関係に役立てることを目指している。